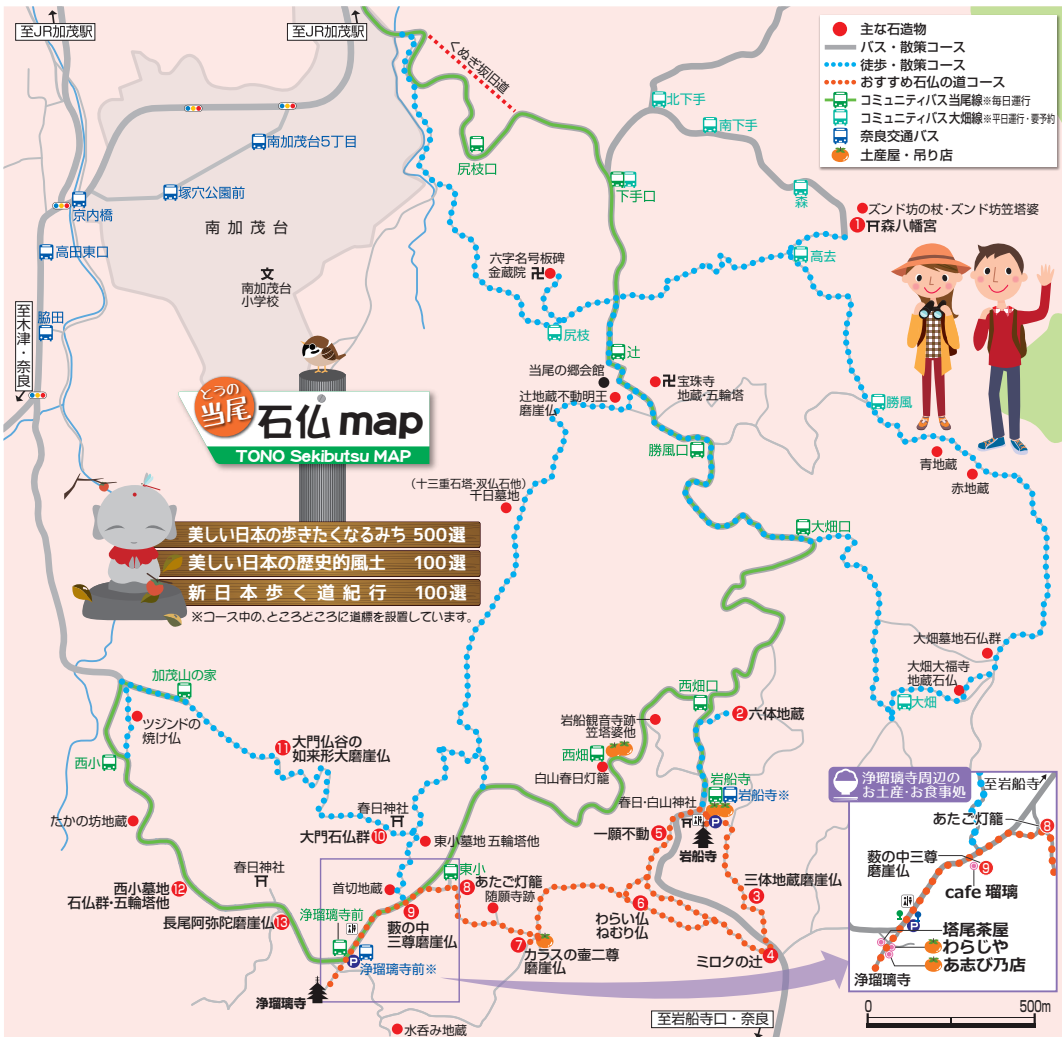
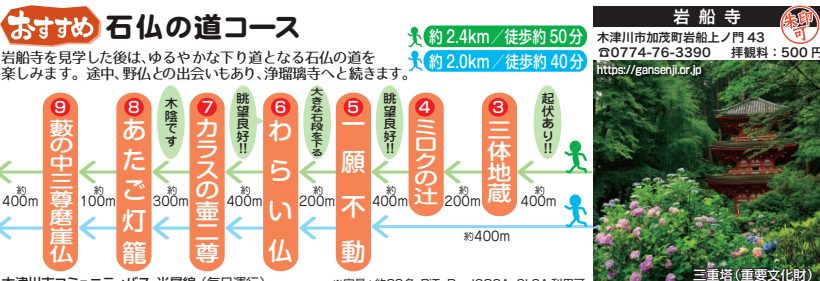






浄土の池「宝池」を中心にして、東に薬師仏、西に阿彌陀仏を配した庭園は種々世界をこの世に表わしたものです。本堂には平安期の九体阿彌陀如来坐像を横一列に安置しており、当時のまま現存するのはここ浄瑠璃寺だけです。

【国宝】本堂、三重塔、九体阿彌陀如来坐像、四天王立像【重要文化財】薬師如来坐像、地藏菩薩立像、吉祥天立像、不動明王像、石灯籠二基



※荒天時には一部の道路が通行止めになることがありますのでご注意ください。  
※季節によっては道中の雑草が伸び、足元が悪くなることがありますのでご注意ください。

※浄瑠璃寺前・岩船寺「お茶の京都 木津川古寺巡礼」4月、5月、11月の土・日・祝のみ運行  
(JR・近鉄奈良駅→浄瑠璃寺前→岩船寺→浄瑠璃寺前→加茂駅西口→阿間) 奈良交通お客様サービスセンター ☎0742-(20)3100

#### 1 ★府指定有形文化財 森八幡宮

線刻不動明王・毘沙門天  
【正中3(1326)】

当尾で一番古く格式のある神社で急な石段を登った岩山の上に祀られています。像高 100 cm。

#### 2 六体地藏 (岩船墓地六体蔵石龕仏)

【南北朝】

高さ 112 cm、像高 4.4 cm。

#### 3 三体地藏磨崖仏

【鎌倉末期】

ミロクの辻から岩船寺への旧道の途中、見上げる様な所にかわいい三体のお地藏さんが彫られています。像高 90 cm。

#### 4 ミロクの辻 (弥勒仏線彫磨崖仏)

【文永 11(1274)】  
★府指定有形文化財

昔から大道が交わる道の辻で、旅人が健脚を祈ったところといわれています。像高 170 cm。

#### 5 一願不動 (不動明王立像)

【弘安 10(1287)】  
★府指定有形文化財

岩船寺奥の院の修行場の大きな岩に彫られた童顔キョロ目の変態があるお不動さん。像高 121 cm。

#### 6 わらい仏 (岩船阿彌陀三尊磨崖仏)

【永仁 7(1299)】  
★府指定有形文化財

当尾の代表的な石仏の一つです。蓮台を持つ観音菩薩と合掌する勢至菩薩を従えた阿彌陀仏です。永仁 7 年(1299)の銘文があり、上部の屋根石が崩れているので、風蝕の影響も少なく保存状況は良好です。特に夕陽の中にしたむむ、やさしい微笑みをたたえた姿は微笑ましいものがあります。伊未行の作。中尊像高 79 cm。

#### 7 カラスの重二尊 (阿彌陀地藏磨崖仏)

【康永 2(1343)】

道が交差する分岐点で「からすのつぼ」と呼ばれている場所。角石のコーナーに彫られたお地藏さんと阿彌陀さん。

#### 8 あたご灯籠

【江戸】

細長い自然石を使用した灯籠です。バス停の側にひよろっと建立されています。高さ 170 cm。

#### 9 藪の中三尊磨崖仏

【弘長 2(1262)】

東小集落中程の藪の中にあります。随願寺の塔頭があった場所といわれています。像高、右から 111 cm、153 cm、91 cm。

#### 10 大門石仏群

【室町~】

竹藪の中や細い山道にあった石仏、石塔などを集めて安置しなおしたもので、双体仏や石龕仏、六字名号板碑や五輪板碑などがあり、変化に富んでいます。

#### 11 大門仏谷 (如来形磨崖仏)

当尾の石仏群中、最大の磨崖仏です。幅約 6m の花崗岩に 2.8 m の如来坐像が高肉彫りされています。

#### 12 西小墓地石仏群 西小五輪塔

【鎌倉】  
★重要文化財

東塔 243 cm、西塔 225 cm。

#### 13 長尾阿彌陀磨崖仏

【徳治 2(1307)】

像高 76 cm。

